

むらづくり役場

住民自治組織 中津江振興協議会 《第27版》 2024.11.1 ☎ 54-3200

7年目も...
気負わず楽しく!!

平成30年10月に住民自治組織としてリニューアルして丸6年。組織化までの1年半は山あり谷ありで、難破しそうな船を多くの皆さんの力で、一つの方向に向かって漕ぎだすことができました。
『みんなが主役のむらづくり』を活動のテーマとして、5つの部会を中心に様々な事業を行ってきました。結成当時から人口は、180人減少、過疎化は進行しています。『無理せず楽しく』を合言葉に少しでも元気で安心して暮らせる取組みを模索していきます。

10年の区切りまで、あと一踏ん張り!? これからも、地域の皆様のご協力を、よろしくお願い致します。



サギ被害防止寸劇



住民ツアー

【歴代会長】

- 初代会長 武原 勇一郎さん
- 二代会長 津江 良治さん
- 三代会長 川野 幹夫さん
- 現会長 高木 望さん



月いちバザール



高齢者訪問



ふるさとまつり



イザという時への備え

現在、高木会長以下31名の委員で運営している『むらづくり役場』ですが、部会員は随時募集しています。また、ふるさとまつりを主に企画している「ぼちぼちいこう会」には、10代のメンバーが加入したり、地域医療を考える検討会には市議会議員にも参加してもらったりと、新しい動きも出てきています。今年の運営方針のサブテーマは、『小さな波紋を大きな輪に』あなたも、楽しいむらづくりの輪に加わってみませんか。

9/27

〜楽しみながら〜
公共交通を利用!

デマンドバスを使ったバスツアーを行いました。重要性をPRしようと、くらす部会の企画による『バスの日イベント』を開催。無料となるデマンドに初めて乗ってみようという人や、昼飲みを利用してお酒や食事を楽しむ方、小国の店で買物をして帰られる方々など、15人が、それぞれの楽しみ方で参加されました。

隣町の小国では、醤油蔵や酒蔵見学、湧水スポット訪問など、近くなのに知らない場所を訪れたり、産交バスを乗り継いで黒川温泉で入浴を楽しんだ方も。津江地域での生活に自家用車は確かに便利ですが、免許返納後の移動手段として唯一の公共交通、デマンドバスは欠かせません。運転に不安にある方はもちろん、皆さんも一度、普段使っていないデマンドバスを利用してみませんか。意外と楽しめる乗り方もありますし、もっと使い勝手の良い運行方法など、新たなアイデアが浮かぶかも...



小さい頃は体が小さくて、野田小学校の同級生18人で並ぶときは必ず一番前だったよと笑う文好さん。小学校では遠足や運動会も楽しめたが、戦争が始まると運動場で野菜を作ったり、竹やりの練習などに振り回され、下校後は家の山仕事を手伝っていたそうです。卒業後は本格的に山仕事に就き、遠くは熊本・福岡まで2カ月近く泊りがけで出かけ、夜は嫌々ながら



川野文好さん
(野田)92歳
昭和7年生まれ

周りの大人に酒を飲まされていたとか(笑)25歳でご結婚され、お子さんにも恵まれましたが、優しい性格で子ども達を怒ったことがなく、奥さんとの口喧嘩でも文好さんが先に折れるそうです(^^)最近では多少足が悪くなり野菜作りは出来なくなりましたが、何でも食べて散歩が日課の文好さん。いつまでもお元気で!

地域のお宝!
今月のご長寿さん...

地域のお宝!
今月の若え〜し...



11人の同級生で少しうるさいけど(笑)賑やかさが好きと話してくれた琴菜さん。物語が好きで特にディズニーのラプンツェルが大のお気に入り。津江小学校5年生運動会を頑張ったご褒美に家族旅行でディズニーランドにも行ったそうです。休みの日は大親友と家でゲームをしたり、冬休みには3人でUFOキャッチャーをしようと話しているとか。夏休みのプールや社会見学で自動車工場に行くのも楽しみと学校生活も満喫している様子。好物はピーマンの肉詰め、椎茸は苦手だそうです。今もお母さんと一緒にケーキやプリンなどを作る琴菜さんの将来の夢は"みんなのリクエストに応えられるパン屋さん"。夢に向かって頑張れ〜

《認知症についての勉強会》

～地域で安心して暮らしていくために～



認知症についての理解を深めてもらおうと、昨年度に引き続き、民生委員や福祉委員、自治会長など、地域で見守る人を対象とした勉強会を開催しました。

高齢化が進行していく中、全国的に増加傾向にある認知症は決して他人事ではありません。認知症になっても、住み慣れた地域で生活していくためには、周りのサポート体制が重要となっていきます。



今回は、改めて認知症ってどんな病気なのか、接し方のポイントやNGワードなどを専門家からお聞きし、当事者の奥さんの体験談から多くの事を学びました。またグループワークでは、具体的な事例に対して、どう対応するかを参加者同士で話し合い、自分たちで出来ること・専門機関への相談方法等を確認する事ができました。

つれづれ

おはよう、おやすみ!ただいま、おかえり!そんな何気ない会話...
訳あって長期滞在した小倉のホテルで6日目の朝食。またしても取りすぎたバイキングを一人で頬張りながら、19階のレストランから日本海を眺めていると、悲しくもないのに大粒の涙がポロポロと。オイオイ、今から騒々しいイベント会場で仕事だろ。いつも、朝から下らないオヤジギャグを飛ばしながら朝食を食う日常...いただきます、ごちそうさま!そんな何気ない会話で脳裏をよぎったのだろうか。1週間の仕事を終え自宅に戻ると、「お帰り、お疲れ様」と、いつになく優しい声が出迎えてくれた。涙する前に、まともな土産を買っていない事に焦り、うろたえていると、「どうせ毎日、飲みに出歩いたんでしょ!まっすぐホテルに帰ってたのかしらね〜」遠くにいても行動は読まれている。そういえば、毎晩ホテルを出る背中に、朝でもないのに"行ってらっしゃいませ"って声をかけてもらっていたっけ。そうだ!少年少女よ...あいさつは大事にしるよ(笑)そして今こそ「NOTO, NOT ALONE」だ! [英]

能登半島豪雨災害へのご支援を!

今年、1月1日に震度7の大きな地震に襲われた石川県能登地方。9月には再び激しい豪雨に見舞われ、人的被害を含め大きな災害が発生し、「二重被災」を受けておられる方々も。思うように復旧が進まない中、断水や停電が残る地域もあり、避難生活を余儀なくされる世帯も多いそうです。むらづくり役場では地震災害の時に引き続き、今回の豪雨災害に対する義援金を日田市社会福祉協議会を通じて、被災地にお届けしています。



令和2年の豪雨災害の時には、中津江にも多くの方から支援を頂きました。能登へも皆さんの温かい気持ちを届けましょう